宮城県農業再生協議会 施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書 新旧対照表

変更後

別紙様式第1号(第6条第1項関係)

(略)

(別紙2)

(略)

2 過去の燃料使用量削減実績			
	削減率	実施事業年度	実績
		~	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
		~	<u>kl</u> → <u>kl</u> (○%)
10。火火 11.粉火火/大田草	15%	~	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
10a 当たり燃料使用量 		~	<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
		~	
		~	
		~	<u>kL</u> → <u>kL</u> (○%)
単位生産量当たり燃料使用量	15%	~	<u>kg</u> → <u>kg</u> (○%)
		~	$ m^3 \rightarrow m^3 (\bigcirc\%) $

⁽注1)1期計画、2期計画における目標削減率15%を達成した場合に削減率を○で囲む。

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類		期間)使用量	削減量	削減率					
7MM 100 12700	現在①	目標②	3=1-2	④=③∕①×100					
A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%					
<u>灯油</u>	丛	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>					
LPガス	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%					
LNG	m³	m [*]	m³	%					

別紙様式第1号(第6条第1項関係)

(略)

(別紙2)

2 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
		~	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
		~	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
10。火土、山岭火体田旱	150/	~	<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
10a 当たり燃料使用量 	15%	~	<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
		~	$ \overset{3}{\longrightarrow} \overset{3}{\text{m}} (\bigcirc \%) $
		~	$ \stackrel{3}{\longrightarrow} \stackrel{m^3}{\longrightarrow} (\bigcirc\%) $
	15%	~	<u>KL</u> → <u>KL</u> (○%)
単位生産量当たり燃料使用量		~	<u>KG</u> → <u>KG</u> (○%)
		~	$ \overset{\text{m}^3}{\longrightarrow} \overset{\text{m}^3}{\text{m}} (\bigcirc \%) $

- 注1)1期計画、2期計画における目標削減率15%を達成した場合に削減率を○で囲む。
- (注2)実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

(1) 100 当たり燃料使用単さ削減する目標								
	年間(加温期	期間)使用量	削減量	削減率				
燃料の種類	現在①	目 標②	3=1)-2	④=3/1×100				
A重油 <u>または灯油</u>		1.0						
(灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%				
LPガス	KG	<u>KG</u>	KG	%				
LNG	m³	m	m [*]	%				
合計(A 重油換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%				

⁽注2)実績はA重油・灯油は「kL」、LPガスは「kg」、LNGは「m」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

合計(A 重油換算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
10a 当たり	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

(略)

(注3)燃料使用量の合計欄には、<u>灯油(L)に 0.939 を、LP ガス(kg)に 1.299</u> を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2)単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

	年間(加温期	期間)生産量	削減量	削減率
	現在①	目 標②	3=1-2	④=3/1×100
生産量 (品目名:)	t	t		
	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
1t 当たりの 燃料使用量	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
	m³	m³	m³	%
合計(A 重油換算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

(略)

(注5)燃料使用量の合計欄には、<u>灯油(L)に0.939 を、LPガスkg</u>)に1.299 を、LNG(m)に1.560 を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量:現在①	年間(加温期間) 抑制量:目標 ②	抑制率 3=2/①×100
A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
<u>灯油</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>
LPガス	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
LNG	m³	m³	%

(略)

10a 当たり	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%	

(略)

(注3)燃料使用量の合計欄には、LPガスkg)に1.299を、LNG(m)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2)単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

	年間(加温期	削減量	削減率		
	現在①	目標②	3=1-2	④=③/①×100	
生 <u>産量</u> (品目名:)	t	t			
	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%	
1t 当たりの 燃料使用量	<u>KG</u>	<u>KG</u>	<u>KG</u>	%	
	m³	m³	m	%	
合計(A 重油換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%	

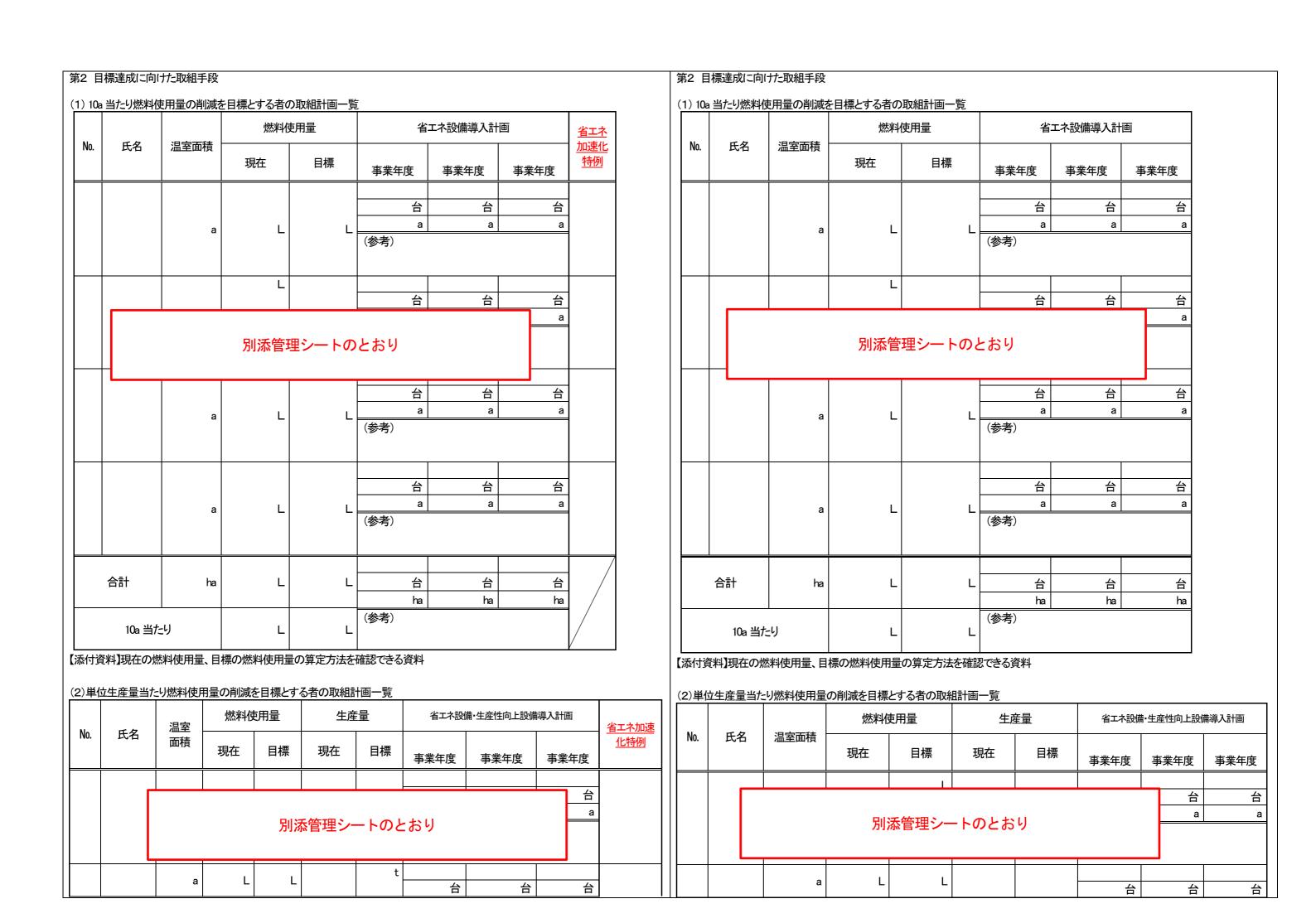
(略

(注5)燃料使用量の合計欄には、LP ガスkg)に 1.299 を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量:現在①	年間(加温期間) 抑制量:目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油 <u>または灯油</u> (灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
LPガス	<u>KG</u>	<u>KG</u>	%
LNG	m³	m³	%

(略)



						(1/±				
					t	(L/t		а	а	
						,	(参考)			
					(L/t)					
						t	台	台	台	
					t				a	
		а	L	L		(L/t	a (4) +(x)	а	а	
					(L/t)	\	(参考)			
						'				
						t	台	台	台	
					t	'				
		а	L	L		(1/+	а	а	а	
					(L/t)	(L/t	(参考)			
						,				
									<u> </u>	
										/
					t	t	台	台	台	/
合	<u></u>	а	L	L			а	а	а	/
	H 1	u	_	_	(L/t)	(L/t	(参考)			/
)				/
										/

【添付資料】燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

	N				燃料コスト 料使用量 の		動抑制取組計	抽	省工本
	No.	氏名	温室面積	(現在)	変動抑制量 (目標)	事業年度	事業年度	事業年度	<u>加速化</u> 特例
			а	L	L	(参考)			
			а	L	L	(参考)			
			а	L	L	(参考)			
			а	L	L	(参考)			
		合計	ha	L	L	(参考)			
(略)								

					t		t	а	а	а
					_			(参考)		
				(L/t)	(L/t)			
								台	台	台
					t		t	а		a
	а	L	L	,		,		(参考)	a	а
				(L/t)	(L/t)	(多有)		
					t		t	台	台	台
	а	L	L		_			а	а	а
				(L/t)	(L/t)	(参考)		
								/>	/>	/>
					t		t	台	台	台
合計	а	L	L					а	а	а
				(L/t)	(L/t)	(参考)		

【添付資料】燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

			エタ	燃料コストの	変動抑制取組計画		
No.	氏名	温室面積	(現在)	変動抑制量(目標)	事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(参考)		
		а	L	L	(参考)		
		а	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
合計		ha	L	L	(参考)		

(略)

- (注3)燃料コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で○○KL売り渡せることが可能な量)。
- (注4) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。
- (注5)第19条第5項の規定に取り組む者は省エネ加速化特例の欄に「○」を記入する。
- (注6) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。
- <u>(注7)</u> 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

(以下略)

(注3)燃料コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で○○KL売り渡せることが可能な量)。

(注4)変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。

(注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

(注6) 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

(以下略)

別紙様式第3号(第8条第1項関係)

(略)

- 第2 省エネルギーに関する目標の達成状況(毎年度報告)
- 1 省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ事業年度: 令和〇事業年度(目標年度: O〇事業年度)

(10a 当たり燃料使用量を削減する目標)

燃料の種類	年間(加温期	期間)使用量	削減量	削減率
※※不予ひりが里天貝	現在①	目標2	3=1-2	(4)=(3)∕(1)×100
A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
灯油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
LPガス	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
LNG	m	m³	m [*]	%
合計(A 重油換算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
10a 当たり	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

(注)省エネルギー等対策推進計画第1の3の(1)10a当たり燃料使用量を削減する目標から転記する。

(単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標)

	年間(加温期	期間)生産量	削減量	削減率
	現在①	目標②	3=1-2	④=3/1×100
生産量				
(品目名:)	τ	τ		

別紙様式第3号(第8条第1項関係)

(略

第2 省エネルギーに関する目標の達成状況(毎年度報告)

1 省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ事業年度:令和〇事業年度(目標年度:〇〇事業年度)

(10a 当たり燃料使用量を削減する目標)

(IVA 当たり燃料使用重を削減する日標)					
燃料の種類	年間(加温)	// // // // // // // // // // // // //	削減量	削減率	
がかれていて生ませ	現在①	目 標②	3=1)-2	④=③∕①×100	
A重油 <u>または灯油</u>	14	1.0			
(灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%	
LPガス	KC.	KC	<u>KG</u>	%	
ロガス	KG	<u>KG</u>	<u>rta</u>	90	
LNG	m³	m³	m [*]	%	
LING	""		111	70	
合計(A 重油換算)	KI	ИI	KL	%	
口可(不主/四揆异/	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>NL</u>	70	
10a 当たり	И	И	VI	%	
10a ヨバッ	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	96	

(注)省エネルギー等対策推進計画第1の3の(1)10a 当たり燃料使用量を削減する目標が必転記する。

(単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標)

	年間(加温期	期間)生産量	削減量	削減率
	現在①	目標②	3=1-2	④=3/1×100
生産量	1			
(品目名:)	τ	τ		

	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
1t 当たりの 燃料使用量	<u>kg</u>	<u>kg</u>	<u>kg</u>	%
,,,,,,,,,,,	m³	m³	m	%
合計(A 重油換算)	<u>kL</u>	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%

- (注)省エネルギー等対策推進計画第1の3の(2)単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標から転記する。
- (注)重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標)

燃料の種類	年間(加温期間)使	年間(加温期間)	抑制率
	用量:現在 ①	抑制量:目標 ②	3=2/1×100
A重油	<u>kL</u>	<u>kL</u>	%
灯油	<u>怀</u>	<u>kL</u>	<u>%</u>
LPガス	<u>kg</u>	<u>k</u> g	%
LNG	m	m³	%

(注)省エネルギー等対策推進計画第1の3の(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標から転記する。

(2) 達成状況

(10a 当たり燃料使用量を削減)

(10位 当たりがが、					
燃料の種類	年間(加温期間)使用量実績	削減率 ⑥=(①⑤)/①×100			
A重油	<u>kL</u>	%			
灯油	<u>kL</u>	<u>%</u>			
LPガス	<u>kg</u>	%			
LNG	m³	%			

1t 当たりの 燃料使用量	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%
	<u>KG</u>	<u>KG</u>	<u>KG</u>	%
	m³	m³	m	%
合計(A 重油換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%

- (注)省エネルギー等対策推進計画第1の3の(2)単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標から転記する。 (注)重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。
- (民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標)

(人)川ツンがは山中(川田フィン・守で石川して水がイーハマンを野でが中川りの口信が				
 燃料の種類	年間(加温期間)使	年間(加温期間)	抑制率	
※・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	用量:現在 ①	抑制量:目標 ②	3=2/1×100	
A重油 <u>または灯油</u> (灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	<u>KL</u>	%	
LPガス	<u>KG</u>	<u>KG</u>	%	
LNG	m³	m [®]	%	

(注)省エネルギー等対策推進計画第1の3の(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標から転記する。

(2)達成状況

(10a 当たり燃料使用量を削減)

燃料の種類	年間(加温期間)使用量実績	削減率 ⑥=(①-(⑤))/①×100
A重油 <u>または灯油</u> (灯油の場合はA重油に換算)	KL	%
LPガス	<u>KG</u>	%
LNG	m³	%
合計(A 重油換算)	<u>KL</u>	%

合計(A 重油換算)	<u>kL</u>	%
10a 当たり	<u>kL</u>	%

- (注1)「年間(加温期間)使用量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における使用量実績(小数点以下第1位を四捨五入)を記載する。
- (注2)燃料使用量実績の合計欄には、<u>灯油(L)に 0.939 を、</u>LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(単位生産量当たり燃料使用量を削減)

(千世工注重コルフが外収用重	C113#94/	
	年間(加温期間)	削減率
	生産量実績⑤	6=(1)-(5)/(1)×100
生産量	t	
(品目名:)		
		%
	<u>kL</u>	
1t当 <i>た</i> りの		%
燃料使用量	<u>kg</u>	
	m³	%
合計(A重油換算)	<u>kL</u>	%
	_	

(略)

(注2) 燃料使用量実績の合計欄には、<mark>灯油(L)に 0.939 を</mark>、LP ガスkg)に 1.299 を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。

(略)

(民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制)

燃料の種類	年間(加温期間) 抑制量実績 ④	抑制率 ⑤=④/①×100
A重油または灯油	<u>kL</u>	%
灯油	<u>kL</u>	<u>%</u>
LPガス	<u>k</u> g	%
LNG	m³	%

- (注1)「年間(加温期間)使用量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における使用量実績(小数点以下第1位を四捨五人)を記載する。
- (注2)燃料使用量実績の合計欄には、LP ガスkg/に 1.299 を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。

なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(単位生産量当たり燃料使用量を削減)

	年間(加温期間)	削減率
	生産量実績⑤	6=(1)-(5)/(1)×100
生産量	t	
(品目名:)		
	<u>KL</u>	%
1t当たりの	KG	%
燃料使用量		
	m³	%
合計(A重油換算)	KL	%
	_	

(略)

(注2) 燃料使用量実績の合計欄には、LP ガスkg)に 1.299 を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA 重油使用量の合計を記載する。

(略)

(民間の金融商品や備蓋タンク等を活用)で燃料コストの変動を抑制)

燃料の種類	年間(加温期間) 抑制量実績 ④	抑制率 ⑤=④/①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	<u>KL</u>	%
LPガス	<u>KG</u>	%
LNG	m³	%

(略)	(略)
別紙様式第9号(第18条第3項関係)	<u>(新設)</u>
番 号 室城県農業再生協議会会長 殿	
(農業者組織) 住 所 名称及び代表者の氏名	
施設園芸セーフティネット構築事業省エネ加速化特例の(変更)承認申請について 宮城県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書(平成25年5月24日付け宮城県農業再生協議会作成)第 ○条第○項の規定に基づき、別添のとおり事業参加者より省エネ加速化特例取組計画の提出があったので、関係書類を添えて 承認を申請する。 添付書類 省エネ加速化特例取組計画書	
別紙(別紙様式第9号及び別紙様式第11号に添付)	<u>(新設)</u>
省エネ加速化特例取組計画の内訳 組織名 ○○○○○	
農家 氏 名 燃料使用量 直近の燃料 直近の 燃料 使用量 (基準量) 使用量 削減率 使用量 (目標値) 数量 燃料 数量 コース 積立単価 農家 積立金額	

可附接	(第18条第3項関係)
D = D + D + D + D + D + D + D + D + D +	(場 10 木場) 復民[[示]

省工ネ加速化特例取組計画 (冷和〇事業年度~令和〇事業年度)

	住	所:	氏	名
--	---	----	---	---

1. 省エネ加速化特例(該当する欄に○印を記載)

▶ 農業者

▶ <u>農業法人(支援対象者で</u>ない場合)

農業法人(支援対象者の 場合)

<u>a</u>
<u>L</u>
<u>L/10a</u>
<u>a</u>
<u>L</u>
<u>L/10a</u>
<u>%</u>
<u>L/10a</u>
<u>%</u>
<u>L</u>

【添付書類】

省エネ機器導入が確認できる書類(設置状況が分かる写真及び領収書等)(※3)

基準量、目標使用量の算定方法を確認できる資料

省エネルギー等対策取組計画(農業法人(支援対象者の場合)の場合は省エネルギー等対策推進計画)

<記入上の注意>

- (※1) 単位生産量当たりの燃料使用量を用いる場合には、「温室加温面積」を「生産量」、「a」を「t」にそれぞれ読み替える。ま
- (※2-1) 省エネ機器導入前の燃料使用量を把握できない場合は、地域において設定されている標準的な燃料使用量(品目別)を基準として利用できるものとする。
- (※2-2) 省エネルギー等対策取組計画を最初に策定してから、3年を経過した事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省工 ネ加速化特例取組計画の基準量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、同計画における現在使用量に 0.85 を乗じた使用量を省エネ加速化特例取組計画の基準量とすることができるものとする。
- (※2-3) 省エネルギー等対策取組計画を最初に策定してから、6年を経過した事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省工 ネ加速化特例取組計画の基準量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が一期目の使用量と比較して30%以上の場合、一期

(新設)

目の同計画における現在使用量に 0.85 を 2 回乗じた使用量を省エネ加速化特例取組計画の基準量とすることができるものとする。 (※2-4) 省エネルギー等対策取組計画の途中で省エネ加速化特例の適用を受けようとする事業参加者は、同計画において達成した直近の燃料使用	
量を省エネ加速化特例取組計画の基準量とすること。ただし、既に同計画の目標を達成している場合には、(※2-2)及び(※2-3)のた	
だし書きの規定に従い、省エネ加速化特例取組計画の基準量とすることができるものとする。	
(※2-5) 省エネルギー等対策取組計画において達成した直近の燃料使用量を記載してください。ただし、既に同計画の目標を達成している場合には、(※2-2)、(※2-3) 及び (※2-4) のただし書きの規定に従い、算定した燃料使用量とすることができるものとする。	
(※3) 既に省エネ機器を導入している者は導入が確認できる書類を添付する。なお、新たに省エネ機器を導入する者は、導入次第確認できる書類	
<u>を提出すること。</u> 	
<u>別紙様式第 11 号(第 18 条関係)</u>	(新設)
せい田サト ラニ・ター)排放す業のことが一身加速ル(株成の /本市) スタフスを	<u>(47/18X)</u>
施設園芸セーフティネット構築事業のうち省エネ加速化特例の(変更)承認通知	
<u>令和 年 月 日</u>	
(宮城県農業再生協議会)	
<u>住</u> <u>所</u> 名称及び代表者の氏名	
令和○年○月○日付け○○で承認申請のあった省エネ加速化特例取組計画については、宮城県農業再生協議会施設園	
芸等燃料価格高騰対策業務方法書(平成25年5月24日付け宮城県農業再生協議会作成)第18条第4項の規定に基づ	
<u>き、これを承認する。</u> 	
別紙様式第12号(第8条第3項関係)	
WANTER ON T. D. CARONOMO MANTA.	(新設)
施設園芸セーフティネット構築事業省エネ加速化特例実施状況報告書	
<u>番 号</u> _	
<u>年月日</u> 宮城県農業再生協議会会長 殿	
(由 水一大小口小小)	
(<u>農業者組織)</u> 住 所	
名称及び代表者の氏名	
宮城県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書(平成25年5月24日付け宮城県農業再生協議会作成)第	
8条第3項の規定により報告する。	
<u>添付書類 省工ネ加速化特例実施状況報告書</u>	
別紙様式第13号(第8条第3項)	
施設園芸セーフティネット構築事業のうち省エネ加速化特例実施状況報告書	<u>(新設)</u>

\(\sigma\). →\(\sigma\)	F 4	
/T. Dr •	H- // -	
住 所:	氏 名:	

第1 省工ネ加速化特例実施状況

実施期間 令和○事業年度~令和○事業年度

1 当初目標

①省エネ機器導入前の温室加温面積	a
②省エネ機器導入前の燃料使用量(年間)	L
③省エネ機器導入前の燃料使用量(10a 当たり) (基準量) ②/①×10	L/10a
④経営する温室加温面積	a
⑤直近の燃料使用量(年間)	L
⑥直近の燃料使用量(10a 当たり) ⑤/④×10	L/10a
⑦省エネ機器導入前から直近の削減率 (3-6) /3	%
⑧目標使用量(10a 当たり)	L/10a
9削減率 (3-8) /3	%
⑩特例適用数量 ③×④×0.1×50%	L

第2 省エネ加速化特例に関する目標の達成状況

(10a 当たり燃料使用量を削減する目標)

	<u>経営面積</u> ①	年間(加温期間)燃料使用量実績	10a 当たりの燃料使 <u>用量実績</u> <u>⑨=⑧/①×10</u>	削減率 ⑩=(③-⑨)/③× <u>100</u>
<u>令和○事業年度</u> (1年目)	<u>a</u>	<u>kL</u>	<u>kL/10a</u>	<u>%</u>
令和○事業年度 (2年目)	<u>a</u>	<u>kL</u>	<u>kL/10a</u>	<u>%</u>
<u> </u>	<u>a</u>	<u>kL</u>	<u>kL/10a</u>	<u>%</u>

⁽注1) 「年間(加温期間)使用量実績」欄は、省エネ加速化特例取組計画に取り組んだ年度における使用量実績(小数点以下第1 位を四捨五入)を記載する。

⁽注2) 燃料使用量実績の合計欄には、灯油(L)に 0.939 を、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量 (L) に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

	料使用量を削減する目 生産量 ①	年間(加温期間)生 産量実績 ⑧	1t 当たりの燃料使用 <u>量実績</u> <u>⑨=⑧/①</u>	<u>削減率</u> ⑩=(③-⑨)/③× <u>100</u>
<u>令和○事業年度</u> (1年目)	<u>a</u>	<u>kL</u>	kL/t	<u>%</u>
<u>令和○事業年度</u> (2年目)	<u>a</u>	<u>kL</u>	<u>kL/ t</u>	<u>%</u>
<u>令和○事業年度</u> <u>(3年目)</u>	<u>a</u>	<u>kL</u>	<u>kL/ t</u>	<u>%</u>

- (注1)「年間(加温期間)生産量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における生産量実績(小数点以下第1位 を四捨五入)を記載する。
- (注2) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。
- (注3) 複数の品目を生産している場合は、作付け面積上位3品目(又は作付け面積で全体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載する。

備考	(目標未達成の場合、	考慮すべき事情や達成に向けた取組の方向性等)